

# Weekly Report



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブの活動は、世界に目を向け、地域に根ざり、人々の心に響く活動であり、これこそがロータリーの真の使命である。知る他人の涙は、己の涙よりも、さめざめと流れる。己の涙は、己の苦しみの涙である。知る他人の涙は、己の涙よりも、さめざめと流れる。己の涙は、己の苦しみの涙である。知る他人の涙は、己の涙よりも、さめざめと流れる。己の涙は、己の苦しみの涙である。

令和6年10月22日(火)  
第2171回例会



◆ 会長/安藤 美恵子 ◆ 幹事/伊藤 久史 ◆ 会報/左藤 正道

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第2171回例会記録 令和6年10月22日(火) 15/45回

<点鐘> 安藤美恵子会長

\*テーブルにタウンニュースが置いてあります。川崎百合丘RCが紹介されておりますのでご覧ください。

<ソング> 我等の生業

<ニコニコ委員会> 森委員

<お客様ご紹介> 安藤美恵子会長  
横浜鷺沼RC 小川湧三様

川崎鷺沼RC 小川湧三様→「お世話になります」。当クラブより、安藤美恵子会長→「小塚会員卓話よろしくお願ひ致します」。伊藤幹事→「だいぶ涼しくなつてまいりました。体調管理に気を付けましよう」。俵会員→「日本ライフケア会長にバースデーフラワーありがとうございました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿部会員、赤本会員、阿久澤会員、安藤亨会員、府川会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、鴨志田敏彦会員、鴨志田新会員、菊池会員、北島裕斗会員、小島会員、永田会員、中島眞一会員、中村会員、大野会員、親松会員、嵯峨野会員、左藤会員、嶋会員、白井会員、菅会員、鈴木岳人会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、渡邊会員、森会員。

<会長報告> 安藤美恵子会長

1. 地区大会託児サービスのご案内
2. 2025-26ロータリー財団奨学生(グローバル補助金・地区補助金奨学生)募集開始のお知らせ
3. インターアクト海外研修第1回オリエンテーション開催の件  
10/26(土)16:00～18:30 稲毛神社

<幹事報告> 伊藤幹事

- \*当クラブ例会・案内
- 10/29(火) 夜間移動例会 18:00点鐘 笹子  
会員卓話 森会員
  - 11/2(土)・3(日) 昭和音大祭バザー
  - 11/5(火) 会員卓話 小塚会員
  - 11/12(火) クラブフォーラム
  - 11/16(土) 地区大会
  - 11/19(火) 地区大会に振替
  - 11/26(火) 夜間 移動例会

\*近隣クラブ例会変更  
川崎高津RC、横浜あざみRC

<出席委員会> 福家委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2171回	49	34	15		69.39%
第2170回	49	34	15	4	77.55%

- 第2173回 11月5日 招聘卓話
- 第2174回 11月12日 クラブフォーラム
- 第2175回 11月15・16日 地区大会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

## <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	32件	32,000円	450件	513,000円
財団	0件	0円	7件	161,000円
バネファクター	0件	0円	1件	145,000円
米山	1件	20,000円	15件	260,000円

<米山奨学委員会> 鴨志田敏彦委員長  
阿久澤会員→「嫁にお花ありがとうございました。  
嫁はとても喜んでいました」。

## 本日のプログラム

### <招聘卓話>

ロータリー財団委員会 小塚委員長

本日は招聘卓話となっております。例年、当地区ではロータリー財団月間には地区ロータリー財団委員会の担当者やロータリー財団奨学生学友を招いて財団に関わる卓話を行っていました。今年度よりこの卓話については原則としてクラブの財団担当委員長が行うこととなりました。

本日はセミナーで勉強した資料を皆さんにも見て頂きながら、お話を聞いて頂きたい思います。  
まず、ロータリー財団のあらましです。ロータリー財団は私たちの地域社会から世界的規模の地域といった大きな活動域の中で、国際ロータリーが目指す世界平和への礎となる社会貢献活動への支援を行う世界有数の慈善団体です。国際ロータリーは非営利法人なのになぜ、財団を作る必要があるのかという疑問を聞くことがあります。寄付金を受け取って支出するだけであるなら、非営利法人としての国際ロータリーは法人運用益の免税を受けられるので問題はありませんが、寄付をする側に関しては優遇措置が受けられない状態となっていました。そこで寄付をする側に対しての優遇措置(所得控除)が受けられ新たな非営利法人の設立が求められた結果、ロータリー財団が設立されることとなったのです。現在ではその国の通貨で寄付を行うことで、その国内において税の優遇措置を受けられるようになり、そのための受け皿が公益財団法人日本ロータリー財団となります。このような組織が日本を含めて9か国に存在しています。

ロータリー財団はその時代に要求される手法に変えて奉仕を実践していく柔軟さをもって、過去にとらわれないでアイデアを提供し活動することが認められています。我々に身近なのは、地区補助金を活用した、阿久澤会員のKADVOの歯科グループ

のラオス支援、地域の少年野球支援です。補助金を使ってクラブ独自で支援活動ができたというのは画期的だと思います。ロータリー財団は多額の寄付金を管理しています。使われ方は詳細に明記されています。年間予算の45.6%が国際ロータリーの最優先事項であるポリオプラスに活用されています。なぜロータリーはポリオ根絶に注力し、続けていかねばならないのでしょうか。それはポリオ根絶を最初に世界に訴えたのが、国際ロータリーであり、この30余年で99%まで激減させた実績があるからです。根絶までの頂上がおぼろげながらも見えてきているのも事実ではないでしょうか。残念ながら中東で2件ほど発生しましたが、最後の根絶まで頑張らねばなりません。

グローバル補助金についても他のクラブと協力して活用することを考える必要があります。ロータリー財団の奨学生プログラムについても、当クラブは継続的に行っており、奨学生が周年行事で演奏をしてくれたり様々な場面で参加してくれています。

寄付は支援する人を幸せにします。そして支援をした人も幸せにします。皆さんのロータリーライフがより豊かになりますように、是非、ロータリー財団への関心を高めて頂く事をお願いして卓話を終わらせて頂きます。



### <点鐘>

安藤美恵子会長